年　月　日

睨合ひの総同盟と大瓢派
諒解を遂げて双方解散
浅原後藤両氏会見の結果
今後は穏健なる運動を講ず

筑豊炭坑に於ける日本労働総同盟浅原一派の運動に対し直方町後藤松太郎氏の大瓢派が対抗運動を開始し両者の間は一時険悪の状態にあつたが後藤氏は八幡市で浅原氏に対面し

「貴下の運動は単なる労働運動に非ず社会主義的色彩が濃厚である現に大辻炭坑盟罷事件の如き我々の主義として坐視するに忍びぬ」

と突き込み此れに対し浅原氏は

社会主義なぞとは以ての外で大辻炭坑事件の如きも世間から誤解されて困つた同志の者もつい自己の防衛の程度を越へて斯かる事となつた訳で此点は世間に申訳がない

と揚じ後藤氏は更に

世間貴下の労働運動に労働者を喰ひ物にする賣名の徒として居るが如何

と質し浅原氏は

我々は日本国民である以上何を好んで国家産業組織の破壊を企てよう只労働階級の穏健なる発達を専心する者で社会主義者と同一視さるるは迷惑である實は自分にも有力なる後援者もあるが自分は其援助を断り同志の者と共に麦飯に粗服で労働運動に没頭して居る始末である

と答へて茲に双方充分に諒解を遂げた越へて本月十五日後藤氏は更に浅原、麻生(久)氏と会見の結果坑夫同盟会も共目的を結局する所同一であるから浅原氏も従来の態度を一擲し極めて穏健なる運動をなす事とし茲に双方円満なる解決を告ぐるに至り大瓢派も一時散決し浅原氏も又一応同志を解散した

而して後藤氏は部下千人に対し左記報道書を
送付した

拝啓　三伏の候益々御清穆の段奉賀候陳者
過般来より当本部対浅原氏一派と主義思想
上相反せる為遺憾ながら紛争中に有之候処
今回同盟側たる麻生浅原両氏及び小生とが八幡
市に於て会見し相互に合理的諒解を得る事と相
成候に付御報告申上ぐると共に本件発生以来多大
の御配慮を煩はし実事を感謝致し候尚時代
は本団体の行動を多々益々必要と存せられ候に付
本会の趣意を体し御奮励あらん事を切望致候
炎暑の折柄御健康専一に祈居候

九州大瓢会総本部長　後藤松太郎

競争激甚の
現業委員
選挙は廿二日
門鉄管内でもざはつく

満き一票を投ずべき鉄道現業員の選挙日は愈々廿二日午前一時から午後五時迄の間に於て各関係選挙場で執行される筈であるが当該関係では選挙場の設備其他で忙殺されて居る何様全国一斉に行はれる極めて有意義な代表委員の選挙であつて近き将来は例の国有鉄道会議にも出席し得る事実上の有資格者となり得るのであるから運動は最早白熱化して居るが投票後は廿三日迄に門司、下関、鳥栖、熊本、鹿児島の各運輸事務所に全部取集めた上当該事務所長が選挙委員長となつて直に開票する事になつて居る而して当選の栄を得た委員二百二十の中から二十二名の聯合委員を互選する筈であるが此聯合委員は改選後の現業委員会総会に於て選挙する事になつて居るので九月中旬頃となるであらう右に就き寛門鉄局長は語る

選挙も愈明日に差迫つたが一万四千四百九十五名の有権者を有して居るので容易なものでない其数に於ても遥かに門司市会を凌いで居るのであるが第一回の時は恰も最初の試みであつた且労働問題のやかましい時であつたので競争激甚を極め術もすると不穏の運動が行はれたが今日は左程でもない模様である然し夫れでも場所に依りては印刷物を配附したり斬廟し運動を試したり或は演説会、推選会を催す等白熱化して居る所もある様だ分けて筑豊方面では旺んな模様であるが我等の干渉は絶対禁物である尤も体面を汚す様な事があつた場合は警告も発するが徒らに選挙騒ぎに終らず少くも選挙の主旨と自分の本分を忘れぬ様に希望する

九州の鉄道従業員も漸次覚醒し来れり

坑夫の訴願が本年から激増
内容は不相変坑夫の不当所置指摘
恐るべき思想宣伝の効果 失敗しても影響を残す

鉱山労働者の思想

が労働問題勃興以来次第に変つて来た事は明かな事実であるが最近殊に筑豊炭坑地を襲ふて不成効に終つた労働総同盟会の如きが坑山労働者に与へた思想上の影響は決して軽視することの出来ない彼等坑夫の本来の素質は余り変化して居ないが此等外部からの刺戟が斯様にして重なつて行くに連れて彼等の思想を根本から変化せしめて行く傾向が最近では益著しく

溯つて調べて呉れ

事でなくて三年も前の事を溯つて調べて呉れと訴へて来るのである之れに対して鉱務署は一々適当な解決を与へて居るのであるが斯うした坑夫の陳情が年毎に増加する事に依つて彼等の思想が漸く可き勢ひを以て変化しつゝあるの事實を認め得るのである

時期

当所に付いては個研究の余地もあるが要するに激励が相当の人格者で真面目であれば決して猥褻にも流れず弊害にも陥らない、男子ならば中学の五年位女

ームソサイテイは今日まで当所の